

開館40周年記念

油井コレクションとその時代 [後期]

—油井一二コレクションから佐久市立近代美術館へ

佐久市立近代美術館の開館40周年を記念した展覧会「油井コレクションとその時代」の前期、「美術市場を駆け抜けたコレクター油井一二」に引き続き、後期は「油井一二コレクションから佐久市立近代美術館へ」を開催します。

昭和40年（1965）に油井一二（ゆいいちじ・1909-1992）が『美術年鑑』の発行人となったこと、また昭和50年（1975）に竣工を迎えた佐久市新庁舎のために美術品を寄贈したこと（これにより美術館建設の機運が高まりました）、この二つの選択は油井自身の行動にも影響を及ぼしました。「『美術年鑑』をはじめてからは、日本画の作家ばかりではなく、洋画、工芸、彫刻、書という美術全部門の先生方とのおつき合いが深まっていった」⁽¹⁾ ことで油井の美意識に広がりが見られます。

また、「みずずかる信濃に贈る美の宝庫—油井一二コレクション展」の開催など、美術館建設を見据え公共性をそなえた事業を行いました。

この頃の油井コレクションには、当時無名だった作家が若いときに描いた作品、1980年代の美術団体公募展へ出品した大型作品、日本近現代美術において重要な作品、作家の転換点となった作品などが含まれています。後期は、これらの油井コレクションの特徴的な作品をご覧ください。併せて、平山郁夫など著名作家の晩年の作品も展示します。

(1) 油井一二著『続・風呂敷画商一代記 片眼の達磨』（美術年鑑社1990年）85頁参照。



- 1 横山 操《雪原》1963年制作
- 2 高木聖鶴《[劫初よりつくりいとなむ殿堂に吾も黄金の釘一つ打つ]与謝野晶子短歌》2006年制作
- 3 新井光風《揚帆》1984年制作
- 4 馬越陽子《生命の河に群れる人達》1983年制作
- 5 藤本能道《草白釉軸描加彩翡翠図六角大笥》1987年制作
- 6 寺田政明《早晨の港(焼津)》1980年制作
- 7 城田孝一郎《杭に寄る少年》1978-79年制作

会期中のイベント

ゆいかずと ・油井一人ギャラリートーク

9月16日（土）11:10～11:50 事前予約制・要観覧券

※9月16日（土）の開館時刻は12:00です。開館前の開催ですので必ず予約をしてください。詳細は佐久市立近代美術館ウェブサイトをご覧ください。

・美術館スタッフによる展覧会ガイド

9月30日（土）

10月15日（日）

各日14:00から（40分程度）

参加無料・要観覧券

佐久市立近代美術館 油井一二記念館
〒385-0011 長野県佐久市猿久保35番地5（駒場公園内）
電話：0267-67-1055／ファックス：0267-67-1068
<https://www.city.saku.nagano.jp/museum/>



アクセス

- JR北陸新幹線「佐久平駅」からタクシー約10分
- JR小海線「北中込駅」から徒歩約15分
- 上信越自動車道「佐久IC」または「佐久スマートIC（ETC専用）」から約15分
- 中部横断自動車道「佐久中佐都IC」から約10分